



お知らせ

■石川県「事業承継実践塾」の開催（12/26～3/24） NEW

J A 金沢市と J A グループ石川営農戦略室は、事業承継に関心のある農業者を対象として、「事業承継ブック」を使った全 4 回コースのカリキュラムによる事業承継の実践に取り組みました。

集落営農法人 1 法人と個人果樹農家 1 先にご参加いただき、初回は事業承継の重要性と緊急性について、事業承継ブック製作者伊東氏から説明を受けました。2 回目以降は伊東氏の実践指導の下、担当 T A C も含めて経営体毎に「事業承継ブック<集落営農組織版><親子版>」を使ったステップを進めて、1 0 年プランシートと事業承継計画の作成までを行いました。

今回の実践で、集落営農法人では Z-G I S を使った圃場条件や耕作農地の見える化、アンケートで後継者の意見や構成員の後継者の有無などの情報の共有ができました。構成員は今のところ元気だが 5 年後、1 0 年後には高齢でリタイヤ者が増える可能性があることが判明、大事になる前に状況が理解できたことで、構成員のヒヤリハットとなりました。

個人農家からは、後継者が主導となって事業承継計画を作成し、経営者と今後の経営計画を共有できたことが評価されました。

また、担当 T A C が参加して実践経験を積めたことで、T A C のスキルアップも図ることができました。J A 金沢市では、さらに事業承継の取り組みを広めるために、令和 2 年度は実践研修を現場の T A C 職員に行いスキルアップを図っていきます。



■神奈川県 J A 業務効率の向上に向けて「Z-G I S 研修会」を開催（3/26）

全農神奈川県本部は 3 月 26 日、J A セレサ川崎営農部（5 名）を対象に Z-G I S 操作研修会を開催しました。研修会では、1 人 1 台ノート P C を用意し、圃場登録や住所地図作成による G I S エクセルの作成方法や、補助図形機能を用いた訪問メモの活用などを学びました。

参加者からは「組合員や圃場に関する膨大な情報を 1 つの地図上で管理できる。後輩指導や引継ぎ作業もスムーズに行えそうだ。」「生産緑地の期限の満期を迎える圃

■【お知らせ】 J A 職員のための農業法人支援ハンドブックの紹介

J A グループ中小企業診断士会より J A 農業経営コンサルティングに取組む職員向けの農業法人支援ハンドブックが発刊されました。J A 職員のレベルアップを目的に農業経営の基本事項や法人支援に役立つ J A グループの各種商品が紹介されています。本書の発刊を機に、農業法人に出向いてコンサルティングを実践する J A グループの職員が 1 人でも増えていくことが期待されています。是非ご一読ください。

[立ち読みはこちら](#)
[購入サイト](#)

■Z-G I S ユーザーインタビュー、スタートアップガイドについて

この度全農本所スマート農業推進室が、Z-G I S のユーザーインタビュー、スタートアップガイドの 2 編の動画を作成しました。

ユーザーインタビューは、石川県のたけもと農場様、兵庫県 J A たじま管内のユメファーム青山様にご協力いただきました。

また、スタートアップガイドは、初めて Z-G I S を始める方でも不安なく使い始めることができるよう作成しております。県や J A ・生産者のへの導入、展示会等の P R にぜひご活用ください。

Z-G I S スタートアップガイド

<https://youtu.be/AayxRQKK6S4>

Z-G I S ユーザーインタビュー

<https://youtu.be/hxUHVdGYP4>



■【募集中】 A G R I F U T U R E 取材 J A 銀座三越みのりみのもるマルシェ出展 J A の募集

全農本所 T A C 推進課では、次年度の A G R U F U T U R E 取材 J A 、銀座三越マルシェ出展 J A を募集しています。いずれの取組みも J A 内外に地域ブランドのファンをつくる絶好の機会ですので、ぜひ出展をご検討ください。出展に関するお問合せは全農本所 T

場を見える化して、推進担当者間で共有し、スムーズな訪問活動に役立てたい。」など事業活用への手応えを感じてもらえる場となりました。

同JAは既にIDを取得しており、4月以降タブレットも併用して業務効率を上げていきます。

■石川県 JA金沢市におけるTACシステムの利活用について

石川県JA金沢市では「部門間の情報交換・連携強化」、また、「TACが結果を出すためのプロセスの標準化」を行うためTACシステムを活用した日報徹底や行動スケジュールの管理を行っています。

JA金沢市のシステムの活用は、各アグリセンター担当者（TAC）がTACシステムで行動スケジュールや日報を入力し、センターの所属長が日報内容を確認し承認（承認ボタン）しています。また、月に1度開催されるJA内の営農経済渉外会議において農業経営相談等システムの項目内容に応じて活動をポイント化し、担当者の活動内容を見える化・評価するとともに、日報内容については、支店や信用部門等にも情報提供を行っています。

また、本店担い手支援室担当者が、タイムライン機能や見たよボタンを使い担当者の活動内容をチェック、担い手毎の訪問履歴を見ながら、活動の進捗状況や担い手の要望に対して担当者が行動出来ているかを確認、加筆機能を使い、情報提供や行動に対するアドバイスを行っています。

今後は、ToDo機能や必要項目の更なる入力徹底を図り、担当者の優良な行動を見える化・共有化していくとともに、担当者自らがシステムを活用した効率業務を行うよう更なるシステムの活用を進めていきたいと考えています。

AC推進課までお願いします。

[過去のAGRI FUTUREとマルシェの詳細はこちら](#)

連絡先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

■各媒体でTAC関連の記事が掲載されました

【日本農業新聞】

○JA19年活動報告 自己改革進展 鮮明に（4/15）

NEW

○JAセレサ川崎にJA全農かながわ「Z-GIS」操作方法を説明（4/15）NEW

○広島・JA庄原 営農経済部門と連携 農業融資3倍に（4/15）NEW

○新型コロナ対策 人材確保後押し（4/15）NEW

○西東京市 農業学園スタート（4/15）NEW

○甲府市 イチゴハウスに気象観測センサー ICTで“見える化”（4/14）NEW

○JA自己改革の軌跡（3月）担い手育成（4/14）

NEW

○コロナ禍の観光・飲食業 農家が人材受け入れ（4/12）NEW

○島根 GPSレベラー導入（4/10）NEW

○愛媛 農業公園核に担い手確保（4/9）NEW

【日本農民新聞】

○10DAY'S ニュース<4月1日~10日> 4月1日現在のJA数は584JA（4/15）NEW

○労働力支援の取り組み 全国展開へ 全農（3/25）

○第4回JA営農指導実践大会 JA全中（3/25）

【グリーンレポート4月号】

○がんばる担い手-がんばる担い手-福島県田村郡三春町（有）M&Aふぁーむ・わたなべ 代表取締役 渡辺宣夫さん

【経営実務4月号】

○いまこそTACだ!!-福岡県 JA筑前あさくら 地域振興部 手島義勝 副部長

【地上1月号】

○愛媛県 JAえひめ中央

【JAグループGAP通信3月号】

○第14号

【Z-GIS情報No.8】

○作業計画にZ-GISを活用しています！高峰ファーム

TACシステムの「知恵箱」-「15.TAC広報」 「29(1)Z-GIS 情報提供資料」に投稿済

【全農ウィークリー】

○Vol.920（4/6）

○本所ホームページを全面リニューアル

技術情報（出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より）

2. [イネ縞葉枯病の総合防除技術および防除体系の構築を支援するマニュアル（農研機構HPへリンク）](#)

イネ縞葉枯病を効果的に防除するためには、媒介虫を対象とした薬剤防除、抵抗性品種の利用、圃場管理を産地の特徴に応じて組み合わせることが重要である。総合防除技術を取りまとめた本マニュアルは本病の総合防除体系の構築に活用できる。

3. [寒地での直播栽培に適する良食味水稻新品種「さんさんまる」（農研機構HPへリンク）](#)

「さんさんまる」は、北海道での出穂期が“かなり早”に属するやや低アミロースの良食味水稻品種である。短稈

で耐倒伏性に優れ、直播栽培において多収性を示すため寒地における直播栽培に適している。

※一覧はT A Cシステムの「知恵箱」-「14. その他」に投稿済。ファイル名:「【20200331】農研機構研究成果発信一覧表.xlsx」

事業承継

■茨城県 事業承継研修会 開催 (2/26)

全農茨城県本部は2月26日、茨城県中央会営農支援センターと連携し「事業承継研修会」を開催し、県内J AのT A Cをはじめ、関係団体などを含め38名が参加しました。

茨城県本部からは、J Aにおける事業承継対応の重要性や事業承継ブックの活用方法、実際に事業承継を行った農業法人の事例、他県の先進事例などを紹介し、県中央会では、税務上の留意点について全中の事業承継の手引きから抜粋した資料により、所得税・消費税・贈与等について説明を行いました。

全農茨城県本部では、令和元年度において事業承継に関連する研修を3回開催し、県内J Aに事業承継の取り組み強化の啓蒙を行ってきました。今後は、実務的に一歩踏み込んだ研修を企画し、T A C担当者の支援を行う予定です。

■埼玉県 全農埼玉CS運営委員会青年部研修会にて事業承継支援を説明 (2/18)

全農本所T A C推進課は、酪農後継者向けの研修会にて「農業経営における事業承継」について説明を行いました。耕種に限らず、畜産や酪農経営の担い手も同様に事業承継に課題を抱えており、今回は親子間や世代間の話し合いのきっかけづくりについて事業承継の現状や事業承継ブックの紹介を行いました。今後も事業承継の実践に繋がるように各種研修会にて引き続き説明を行ってまいります。

■秋田県 第4回T A C担当者研修会 開催 (2/13)

全農秋田県本部は県内のT A C担当者を対象に今年4回目となるT A C担当者研修会を開催しました。今回の研修会では事業承継をテーマに事業承継支援の必要性、事業承継ブックの内容理解、事業承継取組支援の実践にむけたグループワーク、J Aにおける事業承継支援事例を学んだ他、事業承継の手引き（家族経営版、法人経営版）を活用した事業承継支援のポイントについて研修しました。今後も各種研修会等の企画等により、担い手支援のために奮闘するT A Cの活動を支援していきます。

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

全農本所T A C推進課では、各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック集落営農版)を発行しました。

全農HPでは3月30日にPDF版を公開し、5月7日以降に印刷製本版を順次配布します。(県域T A C部署を通じて事前に部数とりまとめ済)

是非、各県でのT A C活動を通じて活用を宜しく願います。

全農HPは[こちら](#)

■「J Aにおける事業承継の取組手順」発行

全農主催の事業承継プロジェクト会議及び各県域からの意見を踏まえ、「J Aにおける事業承継の取組手順」を発行しました。是非各J Aでの活用をお願いします。

なお、データはT A Cシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■農業協同組合新聞 事業承継特集紙 作成

全農本所T A C推進課では、全国農協青年組織協議会、全国青年農業者クラブ連絡協議会、N P O法人農家のこせがれネットワークの協力を得て、事業承継特集紙を作成しました。J A岩手ふるさと、J Aしまね、J A広島市、J A鹿児島中央会の取り組みも掲載しております。

特集紙は、2月26日J A全国青年大会で配布し、3月8日全国青年農業者会議でも配布する予定です。

J A c o m掲載記事は[こちら](#)

全農HPは[こちら](#)

■J A広報通信 特集監修

全農本所T A C推進課では、J A広報通信3月号特集「親子で考えよう 農業の事業承継」の監修を行いました。紙面はT A Cシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■「J Aにおける事業承継の活動コンセプトづくりシート」発行

全農本所では、事業承継に率先して取り組む全国5県のJ A及び県域、全国四連、全青協をメンバーとした「事業承継プロジェクト会議」での議論を踏まえ、「J Aにおける事業承継の活動コンセプトづくりシート」を発行しました。

事業承継の取組みを検討されている全国のJ Aで活用頂くよう願います。

なお、データはT A Cシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■事業承継啓発チラシの活用を！

各県からの要望に基づき、事業承継啓発チラシを作成しました。「事業承継ブック」とセットでご活用ください。元データは知恵箱「14. その他」に格納しています。年度末に県域TAC部署から全農本所への利用報告とりまとめも依頼しておりますので、各JAのご協力も宜しく願います。

Z-GIS



！！Z-GISの動画ができました！！

全農本所スマート農業推進室が、Z-GISの動画を2編作成しました。県やJA・生産者への導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。

Z-GIS スタートアップガイドは[こちら](#)

Z-GIS ユーザーインタビューは[こちら](#)



■Z-GIS情報について

4月13日付で本所スマート農業推進室より「Z-GIS情報 No. 9」が発行されました。TACシステム知恵箱の「29(1)Z-GIS情報提供資料」に掲載しておりますので、担い手向け訪問ツールとしてご活用ください。

TACシステムの「知恵箱」-「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

■熊本県 地域営農組織リーダー研修会にてZ-GISを紹介(2/13)

熊本県内の地域営農組織で構成される地域営農法人協議会はリーダー研修会を開催し、この研修会にてZ-GISの機能紹介とデモンストレーションを行いました。研修会には熊本県内の地域営農組織や営農法人代表者、JA担当者、市町村関係機関より約350名の参加があり、県内外での農事組合法人の優良事例を発表し合い、法人化への取組み促進や経営の安定化、地域農業の持続的な発展を図りました。紹介したZ-GISについても数多くの質問や問合せがありました。今後TACとともに普及拡大を進めてまいります。

■秋田県「Z-GIS」研修会を開催(12/16)

全農秋田県本部は12月16日、県内ユーザーおよびJAを対象とした「Z-GIS」研修会を開催しました。本研修会では、全農本所耕種総合対策部

スマート農業推進室から講師を務めてもらい、新機能等の情報提供やユーザーの皆様からのご意見・ご質問をお伺いしました。

参加いただいたユーザーの皆様からは、日ごろのシステムを使用しているうえでの疑問点を解決できてよかった、との声をいただきました。

秋田県本部では、今後もZ-GISの普及拡大に向けて活動してまいります。

■神奈川県 施肥マイスター対象に「Z-GIS研修会」実施(12/5)

全農神奈川県本部は12月5日、JA施肥マイスター(7JA17名)を対象に圃場毎の施肥提案への足がかりにしてもらおうと、操作実習を開催しました。

1人に1台ずつノートPCを用意し、土壌診断結果サンプルを電子地図上にマップ化し、ツールバーの各種機能を表示しながら、活用提案をはかりました。

参加者からは、「圃場の状態や場所がひと目で把握できるので、施肥管理の効率化に役立ちそう」と手応えを感じてもらい、担い手提案力向上へのステップとなりました。

今後、全農県本部職員が個別にJAを訪問し、圃場毎の適正施肥や防除指導に活かせるようフォローする予定です。

農業労働力支援

■「九州ブロック労働力支援協議会」設立総会 開催(1/28)

全農は1月28日、沖縄を含む九州全域の県農協、県経済連、県中央会、全農県本部、農林中央金庫福岡支店およびパートナー企業である(株)菜果野アグリを構成団体とする「九州ブロック労働力支援協議会」の設立総会を開催しました。

高齢化や後継者不足に伴う農業就業者の減少により、農業分野における労働力不足が深刻化する中、全農では地域農業振興を軸とした労働力支援の実効策を進めています。

今回発足した協議会では、各県における課題を共有し、パートナー企業との連携による農作業受託モデルのさらなる広域化、異業種企業との連携のあり方や、県域単独では困難な年間作業量の平準化や県域を超えた労働力の融通について協議していきます。

■富山・砺波地区営農技術指導員協議会「労働力支援研修」の開催(1/23)

砺波地区営農技術指導員協議会(JAとなみ野・JAなんと・JAいなば・JA福光)と全農富山県本部は、30年度総会終了後、労働力支援研修を開催しました(参加者65名)。

研修会では、全農本所TAC推進課より「労働力に関する情勢」や「取り組みJAの事例」の紹介がありました。

同地区は園芸振興の盛んな地域で、協議会役員からは「担い手からの要望があるので今後、支援策の検討をすすめてほしい。」という意見が出ました。

若手農業者対応

■第66回JA全国青年大会 開催(2/18)

全国農協青年組織協議会は、2月18～19日の二日間、「Time to Go～さあ行こう！～新たな時代に輝き続ける6万の光」をスローガンに、「第66回JA全国青年大会」を開催し、全国のJA青年部員ら約1,500名およびJAグループ役職員が参加しました。

主催者挨拶では、今野会長より、近年頻発している自然災害による農業被害、日米貿易交渉や、食料・農業・農村基本計画をはじめとする制度や基本計画の見直しに対して、ポリシーブックを核として農政活動の強化・拡充に努めてきたことを説明しました。

大会では、令和元年度JA全青協活動報告、次期会長立候補者による決意表明に続き、青年の主張全国大会、青年組織活動実績発表全国大会が行われ、各ブロックよりそれぞれ6名による活動報告が行われました。二日目(19日)には授賞式が行われ、青年の主張全国大会の最優秀賞(全中会長賞)には熊本県のJA鹿本青年部の原田実氏、青年組織活動実績発表全国大会の最優秀賞(千石興太郎記念賞)には、北海道のJA中札内村青年部が選ばれました。いずれの発表もJA、関係機関やJA全青協の仲間とのつながりを大切にした事例発表であり、農業や地域に対する熱い思いを聞くことができました。

■中四国地域若い農業者の集い 開催(11/7-8)

中四国農業青年クラブ連絡協議会、IFK(香川県農業青年クラブ)は、11月7日-8日に「中四国地域若い農業者のつどい」を開催しました。各県の代表者が、農業に関するプロジェクト発表、意見発表を行い、全国大会への選考が行われました。

発表者それぞれが熱い思いを持って発表を行い、技術面だけでなく、意識面や考え方等についても参加者に共有しました。

相談

※いずれも無料ですので、積極的にご利用ください！！

■担い手対応の経営相談

全農本所では、担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■6次産業化相談

全農本所では、6次産業化中央サポートセンターのご協力を得て、6次産業化、商品開発等に取り組む担い手、JA等へ、専門知識を持つプランナーの派遣を行っています。

派遣を希望される場合は、県域TACと協議の上、相談票を作成し、全農本所TAC推進課まで送付下さい。(様式は県域TACへお問い合わせ下さい)

TACアグリビジネススクール

■令和2年度TACアグリビジネススクール日程

内容につきまして詳細が確定いたしましたら、後程改めてご案内いたします。

回	日程	時間	テーマ
1	6/3(水)	10時～15時	販売強化につながる取り組み
2	7/1(水)	10時～15時	省力・低コスト資材、技術情報①
3	8/12(水)	13時～15時	農業現場における労務管理
4	9/2(水)	13時～15時	直近の農業情勢①
5	10/7(水)	13時～15時	直近の農業情勢②
6	11/10(火)	10時～15時	会計・税務研修①
7	11/30(月)	10時～15時	会計・税務研修②
8	1/6(水)	10時～15時	会計・税務研修③
9	2/3(水)	13時～15時	省力・低コスト資材、技術情報②

資材貸出

■全国共通資材の貸出

タペストリー一覧表を更新しました！

ジャンパー、エプロン、帽子、ポロシャツ、のぼり、テーブルクロス、ハッピーの貸出申請書は、TACシステム知恵箱-「83.TAC資材貸出」に投稿されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

■ワークウェア(JA全青協モデル)貸出 内規制定

ワークウェア(JA全青協モデル)の貸出内規を制定しましたので、農機フェア等での販売を希望される場合は、貸出申請書を全農本所TAC推進課まで送付下さい。

内規・申請書は、県域TAC担当部署にお問い合わせ下さい。

10	3/3(水)	13時～ 15時	労働力支援
----	--------	-------------	-------

* 会議室・講師の都合により変更する場合があります。

みのりみのるプロジェクト

■銀座三越みのりみのるマルシェ「京都市の実り」開催(2/22)

J A京都市は、2月22日(土)銀座三越で「みのりみのるマルシェ京都市の実り」を開催し、管内の旬の農産物を紹介しました。当日は、鮮やかな赤色で香りがよい「金時にんじん」や歴史ある葉ネギの代表格「九条ねぎ」、種から育てる実生栽培が特徴の水尾ゆずの加工品や京漬物の名産品「すぐき漬」等を販売しました。当日はコロナウイルスの影響で試食提供が実施できず、マスク着用による接客対応など一定の制限を受けての開催となりましたが、お客様へ農産物のおいしい食べ方や生産者の思いを積極的に伝えることで完売御礼となりました。

■銀座三越みのりみのるマルシェ「あきた白神の実り」開催(2/1)

J Aあきた白神は銀座三越みのりみのるマルシェあきた白神の実りを開催し、管内の旬の農産物を紹介しました。当日は雪国特有の雪解け水を使って育つ「あきたこまち」やとろけるような味わいとシャキシャキした歯ごたえの「白神ねぎ」、サクサクした食感とほろ苦さが魅力の「山うど」などの産地を代表する農産物や白神ねぎをふんだんに使用した加工品「白神ねぎラー油」や「白神ねぎしょうが生ふりかけ」等を販売し、おいしい食べ方や地域の魅力を消費者にPRしました。

***** みのりみのるマルシェ *****

	銀座三越
出展者	J Aさが (佐賀県)
日付	5/30(土)
時間	10:00～18:00
場所	銀座三越9階 みのる食堂前

◆みのりとみのるHP

■「AGRI FUTURE」V.1.90(J A長生)発行(3/10)

○フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付

HPは[こちら](#)

※「AGRI FUTURE」は「みのりみのるマルシェ」と併せて、担い手と一緒に地域ブランド創りに取り組むTACへの支援策として、地域ブランドのストーリー(地域の歴史・文化・自然・生産者の想いなど)を、首都圏やJ A管内の生活者に伝える企画として実施しています。

TACシステム関連情報

■TACシステム新規ユーザー様向け：メッセージ受信設定について

平成30年3月26日のTACシステムバージョンアップ以降、新規ユーザー様から「TACシステム登録アドレス宛にお知らせメールが届くようになった。メールを受信しない(または必要なメールは受信する)設定はできないか」というお問い合わせをいただきます。TACシステムの個人設定からメッセージ関連設定を選択することで、受信設定を変更できます。

詳細な手順説明は、TACシステム知恵箱「90.(3)操作マニュアル」に格納しています。

ファイル名：

TACシステムメッセージ関連設定マニュアル(1804作成).pdf

■TACシステムへ各種記事媒体の掲載について

知恵箱に記事媒体を引用し投稿する場合には、必ず、事前に発信元に掲載の許可を取ってください(著作権法に抵触します)。

なお、投稿の際には、記事の余白とファイル名の末尾に『転載許可済』と入力して下さい。また、日本農業新聞を引用・掲載する場合は、所定の申請書に記入し各自で許可申請をして下さい。(HPのリンクを張ることについては申請不要です)

■TACシステムの利用申請書について

利用申請書(新規、再登録、削除)については、原本はJ Aで保管し、データもしくは写しをヘルプデスク(ninait-help@z-bs.co.jp)へ送付ください。

メールにて送信する場合、個人情報保護のため、パスワードでの保護をお願いします。利用規約、安全管理マニュアルについてはTACシステム「知恵箱」-「90.(1)規約・申請書」をご覧ください。

※新任、勤務地変更、解約がある場合は、速やかに申請書類を提出してください。

※特にシステムを利用しなくなる方については、必ず、解約手続を行ってください。

◎詳しくはユーザー申請書記入マニュアル(知恵箱)をご覧ください。

※申請書類は、各県域(県本部・中央会・経済連等)を通して、ヘルプデスクへ送付してください。

■ヘルプデスク宛先

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-13

株式会社 全農ビジネスサポート

管理販売システム部 管理販売グループ

TACシステムヘルプデスク 御中

TEL: 03-3350-1157

Eメール: ninait-help@z-bs.co.jp

◆◆知恵箱掲載のお知らせ◆◆

【25.連絡】利用登録・待ち状況一覧(20200407).xls

【29(1)Z-GIS情報提供資料】【20200413】Z-GIS情報(No9)

☆文字化けが発生するケースがある為、画面コピーを貼り付けています。
文字化けが発生する場合は全農本所TAC推進課までご連絡ください。

【 3月 】月間ランキング

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2020/3/1~2020/3/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	1918	29	66.1
2	JAおちいまばり	愛媛	979	19	51.5
3	JA花咲ふくい	福井	902	24	37.6
4	JAおいた	大分	884	12	73.7
5	JA福井市	福井	850	18	47.2
6	JAおきなわ	沖縄	831	13	63.9
7	JAなす南	栃木	791	5	158.2
8	JA北びわこ	滋賀	753	7	107.6
9	JA花巻	岩手	750	25	30.0
10	JAさが	佐賀	740	16	46.3

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2020/3/1~2020/3/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JALいるま野	埼玉	275	1	275.0
2	JAなす南	栃木	791	5	158.2
3	JA八戸	青森	567	4	141.8
4	JA東西しらかわ	福島	275	2	137.5
5	JAしまね 出雲地区本部	島根	521	4	130.3
6	JALしおのや	栃木	588	5	117.6
7	JAさいかつ	埼玉	554	5	110.8
8	JA茨城かすみ	茨城	328	3	109.3
9	JAみなみ筑後	福岡	217	2	108.5
10	JA北びわこ	滋賀	753	7	107.6

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★4月14日登録までの集計

※4月の月間ランキングは5月13日(水)発行予定の「TAC通信」に掲載予定(5月12日登録までの集計となります)

【 3月30日 ~ 4月5日 】週間ランキング集計

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2020/3/30~2020/4/5)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	299	26	11.5
2	JA花巻	岩手	296	19	15.6
3	JA南彩	埼玉	273	9	30.3
4	JA福井市	福井	254	17	14.9
5	JAおきなわ	沖縄	221	13	17.0
6	JALこしみの	岐阜	203	16	12.7
7	JAなす南	栃木	197	6	32.8
8	JAあさひかわ	北海道	166	16	10.4
9	JA埼玉中央	埼玉	164	8	20.5
10	JA埼玉ひびきの	埼玉	150	7	21.4

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2020/3/30~2020/4/5)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA東西しらかわ	福島	75	2	37.5
2	JAなす南	栃木	197	6	32.8
3	JALーク大津	滋賀	63	2	31.5
4	JA京都にのくに	京都	92	3	30.7
5	JA南彩	埼玉	273	9	30.3
6	JA小松市	石川	139	5	27.8
7	JAさいかつ	埼玉	138	5	27.6
8	JA広島中央	広島	25	1	25.0
9	JAしまね 出雲地区本部	島根	98	4	24.5
10	JA青森	青森	48	2	24.0
10	JA越後中央	新潟	96	4	24.0

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★4月14日登録までの集計

最近のニュース

【最新ニュース】

- 農業協同組合新聞
- 【JA全農事業計画】Z-G I Sなど新技術活用で生産基盤強化ー営農・生産資材事業 **NEW**
- 女子生徒が男子を上回る 畜産を学ぶ農高の生徒数 中央畜産会が調査 **NEW**
- 新型コロナウイルス関連 雇用維持に配慮を要請 農水省 **NEW**
- 全国農業新聞
- 解散相次ぐ集落営農組織 危機打開へ統合・連合進む
- 列島最前線 麦ストローを提供・販売 大阪・河内長野市 むささびパン工房
- 全農 HP
- 「Apron (エプロン) web マガジン」4月号を更新しました **NEW**

【農林水産省】

- 農業担い手メールマガジン (不定期配信)
- e-普及だより
- 補助事業参加者の公募
- ◎災害情報について
- ◎米穀の農産物検査結果

【全国農業会議所】

- ◆全国農地ナビ
- 【農機情報】
- ◆日本農機工業会
- 【農作業安全】
- ◆<関連情報>農作業安全情報センター
- 【TPP関連】
- ◆TPP報道 (日本農業新聞)
- 【JA全青協】
- ◆各地域のJA青年部の取組 (JA全青協HP)

※本リンクは、インターネットにある新聞や各情報のうち、TAC推進課が担い手に関する内容を収集して作成しています。

JA全農 耕種総合対策部 TAC推進課
TEL : 03-6271-8276
FAX : 03-5218-2535
mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp

TACパワーアップ大会2019「大会宣言」

我々TACは
一、担い手の声に向き合い、JAグループの力を結集して応えます。
一、担い手とともに、活力ある地域づくりを目指します。
一、TACの輪を広げ、日本農業の未来を切り拓きます。

★毎週水曜日を基本に、定期配信します(水曜日が祝日の場合は休刊します)★